

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム並木

目標達成計画

作成日: 令和 7年 3月 28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	グループホームの理念は周知されておらず、見直し等の話し合いはなされていない。グループホームの職員が自分たちの言葉でホームに即した理念を作り上げる事で、入居者に還元できる。	ホーム理念の見直し 職員全体で検討し作成する。	全職員に投げ掛け みんなが周知出来る様に具体的な理念を検討していく。4月・10月に人事考課があり その際に説明し案を出してもらい 検討する。	7ヶ月
2	4	地域に根差した活動を行うためにも、学校の先生や交番の方、民生委員などに声を掛け、より地域に密着した活動ができる	現在 行政・包括支援センター・消防予防課と家族の参加であり 以前 民生委員や区長また地区交番の巡査の参加があった 以前のように地域の方々の参加を検討していく。	現在の委員と相談し 会の参加を検討していく。 地区の交番巡査や民生委員・区長に声かける予定である。4月の推進会で検討し 打診していく。	5ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

注) 完成したら市町村及び評価機関に提出して下さい。